

The Philosophy of Nagahama Ceremony

人生最後の「ありがとう」のために。

地域に愛される会社でありたい。

これは今も昔も変わらない、長浜セレモニーの根幹となる想いです。

私たちが目指すのは、

お葬式を執り行なう“業者”としてのお付き合いではありません。

お葬式だけでなく、地域の催しでも皆様から必要とされるように。

長浜セレモニーに関わるすべての方から

「おかげさまで……ありがとう」と言っていただけるように。

ご家族・地域の皆様の「気持ち」に寄り添う、

ライフパートナーでありたいと思っています。

100人いれば100通りの人生があるからこそ、

どれもが「世界に一つだけのご葬儀」に。

お集まりいただいたすべての方が、

故人様の思い出を分かち合い、生きた証を心に刻めるよう、

一人ひとりの想いを形にしたお葬式を実現いたします。

手間暇を惜しまず、人生最後の「ありがとう」をお手伝いを。

地域でのご縁を大切に、

社員一同「こころ」を込めてご奉仕させていただきます。

長浜セレモニー株式会社
サポート部

心のこもったあたたかいお葬式を届ける



出逢いとご縁に感謝。

長浜セレモニー 家族葬の♥ ウィズユー宮前



心のこもったあたたかいお葬式を届ける

私たちは常にお客様に満足いただける企業として感謝の「こころ」でご奉仕します

私たちは常に「こころ」から愛される企業として地域社会に貢献します

私たちは常に尊敬と愛情と信頼で結ばれ「こころ」をひとつにして協力の精神で社運の発展に努めます

お客様に安心と満足をご提供し、地域に愛される会社でありたい



地域の事情に精通した
地域密着の葬儀社



お葬式の費用を1円単位でお見積り
明瞭価格で安心のプラン



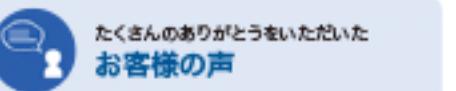
ご縁を大切に
心をこめたご提案



地域密着の葬儀社だからこそできる
充実のアフターサポート



葬儀社格付 (JECA)
最高評価5つ星を獲得



たくさんのありがとうをいただいた
お客様の声

■式場一覧



家族葬の♥ ウィズユー高月

滋賀県長浜市高月町
柏原396-1
パワーズさん斜め向かい



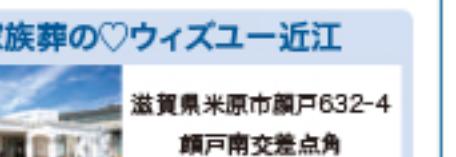
長浜式場

滋賀県長浜市加納町
341-5
長浜ICより車で3分



家族葬の♥ ウィズユー宮前

滋賀県長浜市宮前町6-4
旧国道8号線沿い



家族葬の♥ ウィズユー近江

滋賀県米原市額戸632-4
額戸南交差点角

葬儀のことなら何でもお気軽にお問い合わせください

0120-09-8395

通話無料 365日24時間受付

会社名 長浜セレモニー株式会社
本社所在地 〒526-0804 滋賀県長浜市加納町341番地5
TEL 0749-64-3415 FAX 0749-64-3416
代表者 代表取締役 松村隆雄
設立 2001年7月

ホームページはこちらから▶▶
<https://nagahama-ceremony.com/>



出逢いとご縁に感謝。

大切な人を失った現実を受け止めるることは、そう簡単なことではありません。でも、目の前の『今』を少しずつでも受け止めないと、心に悲しみと後悔を抱え続けてしまうんです。これからを生きていくお客様には、そうならないでほしい。

私がするのは、お客様が吐き出した感情を、弱さを、誰よりもしっかりと受け止めること。葬儀業界に身を置いて10年を過ぎた今、そう確信しています。

10代の頃からさまざまな業界を渡り歩き……21歳のとき、葬儀業界へと足を踏み入れました。そして、長浜セレモニーに入社しました。

しかし当時の社内体制が肌に合わず、わずか数ヶ月で退職。

次いで自分の力を試すために市外の老舗葬儀社へ入社し、公私共に勉強する面が多く成長する日々を過ごしました。もう葬儀の仕事はやらないつもりで退職し、他の仕事に就いたのですが……。

やつぱり……忘れられなかつた。

「葬儀社での仕事は天職だ」「お金以上のものをいただける仕事だ」と、心と身体を感じていたんです。

そんな中でふと思いついたのが、長浜セレモニーでした。葬儀業界で10年間経験を積んだ今なら、何か力になれるかもしれない。勇気を出して門を叩き、再び仲間として迎え入れていただきました。そう言ってくださったから。

長浜セレモニーの魅力は、葬儀社特有の慣習に縛られていないところ。性別関係なく、お客様との打ち合わせ等を任せていただけです。それが、ここに戻ってきた大きな理由でもあります。

お通夜・告別式と共に過ごす中で、お客様が最も頼れるのは、私ともう1人の担当者だけです。たつた数日間で、たつた2人で、何をして差し上げられるのか。お客様の心をどれだけサポートできるのか。

大人になればなるほど、人は感情を抑えるようになります。弱さを見せられなくなっています。大切な人を失つても、なお。

でも目の前にいるお客様は、これからを生きていく。だからこそ、現実を受け入れるためにわがままを言ってほしい。愚痴や本音や弱音を吐き出してほしい。怒りに変わった悲しみをぶつけてほしい。すべてを受け止めるから……。

ただただ……『誰かの『記憶に残る人間』よりも、誰かの『心に残る人間』になりたい』その想いを貫いていこうと思つております。

